

八月十三日一面のエボラ死者千人こそすの記
事を読んで

立山小学校 六年 成瀬 美沙希

毎日、新聞にエボラ出血熱のことが書かれ
ています。感染して感染者がどんどん増えて
十三日までには、千十三人の死者が出て、とう
とうアフリカ以外の国、スペインでも死者が
出る事態になりました。四ヶ月前、ギニアで
初めて感染が確認されてから、感染者のかく
りというやり方だけでは、手の打ちようがな
いようです。アフリカ周辺で暮らす人々にと
ってこわくて不安でたまらない日々だと思っ
ます。

そんな中、WHOが判断した未承認薬の扱
与は、アフリカの人々にとってかすかな希望
なのではないでしょうか。その薬が、また実
験中で認められていないとか、副作用の心配
だとか言っている場合ではないと思います。今
こうしている時間も次々人が死んでいるので

すかり。そして、今回私が注目したのは、その中に、富山県の作ったインフルエンザの薬も入っていて、効果があるかもしれないということ。一念頭にある「つまり、使う予定と書かれていたことです。富山県で作られた薬がこの可愛いエボラ出血熱という病気を治すために使われることになったら、そして、治す「う薬として効果があつたら、とてもすごいいことだと思いました。この薬を開発した人にとつても、そして私達富山県民にとつても、ほこらしいこと、うれしいことです。

絶対この薬で、アフリカから始まったエボラ出血熱がなくなり多くの人が助かってほしいと私は強く願いました。

エボラ死者1000人超す

WHO 未承認薬を容認

【ナイロビ共同】世界保健機関(WHO)は12日までに、西アフリカで猛威を振るうエボラ出血熱による死者(疑い例を含む)が4カ国で計1013人に達したと発表した。

WHOは同日、感染者に開発段階の未承認治療薬を条件付きで投与することを容認すると発表。アフリカ以外で初の死者が同日、スペインで確認された。

【医療スタッフ不足深刻2面】

WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。

【9日までの感染が確認された患者】

WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。

【9日までの感染が確認された患者】

WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。

【9日までの感染が確認された患者】

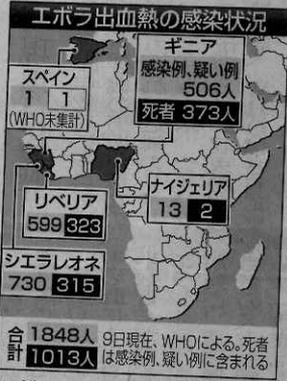
WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。

【9日までの感染が確認された患者】

WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。

【9日までの感染が確認された患者】

WHOは11日の会合で、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)などの条件付きで未承認治療薬の投与を認めることは「倫理にかなう」と結論付けた。



【9日までの感染が確認された患者】

【9日までの感染が確認された患者】

【9日までの感染が確認された患者】

【9日までの感染が確認された患者】

「制御困難」で異例の判断

WHOが12日、開発段階の未承認治療薬の使用を容認する異例の判断に至ったのは、死者千人超という過去最大の感染拡大の危機感を強めたからだ。米国で既に治療薬が使用されており、現状を追認した判断という側面もある。

WHOのキーニ事務局長

（ナイロビ共同）稲葉俊之

男性はカトリックの司祭で、リベリアの宗教系病院で活動していた。この病院勤務者でエボラ出血熱によって死亡したのは、この10日間で4例目という。病院は1日にリベリア当局によって閉鎖されている。